

eco

ecological coral offer

パラオスポーツからのサンゴ礁保護の提案

パラオブルーの海を色鮮やかに飾るサンゴや舞う魚たち。ダイバーだからこそ、この素晴らしい海を体験し語ることができます。皆さんが経験した感動がずっと途絶える事のないようにダイバー一人ひとりの思いやりの気持ちが必要な時代になっています。

私たちは、「いつか、誰かから」ではなく、みなさんと一緒に「はじめの一步」として世界の海を守っていこうと考えています。

サンゴの保護について

サンゴ礁の魚たちの基盤になるのはサンゴ。広大なサンゴ礁の中で生物は子を生み、育て海原へ旅立つのです。サンゴがなければ魚が育つ環境もなく、海の砂漠となってしまいます。

ダイバーとしてサンゴ礁について造詣を深め保護し、ダイビング中はサンゴひいては生物、地球全体をも考える「エコダイビング」を実践していきましょう。

目に見えるサンゴはもちろんの事ですが、これからサンゴが発育する可能性があるところもダイバーとして気をつけてあげましょう。具体的にはサンゴは発育する為に硬い岩盤状の土台が必要です。

砂地など柔らかく形が変化するようなどころではサンゴは着床しません。

サンゴのない岩盤だから触っても・・・実はそこが新しいサンゴが生まれるところなのです。

サンゴが着床する土台の地下へ私達ダイバーが着底し、触ることによってサンゴ礁の成長を妨げているのです。サンゴ礁の成長を促し見守る為にもリーフへの接触を極力しないようなダイビング方法を対案します。

着底しない中性浮力ダイバーになろう！

水中と言う特殊な世界で、色々な機材をつけることによって五感がいつもより鈍くなり、足元が注意散漫に。

知らないうちにフィンでサンゴや砂地を蹴っている事もしばしばですよね。また写真を撮る時にリーフへはいつくばってサンゴやソフトコーラルをつぶしているかも知れません。

何も無いと思ったところでもサンゴが発育する土台となる可能性があるのです。

ダイビンググローブをはずそう！

必ずと言っていいほどグローブを着用してダイビングした経験があるはず。しかしちょっと待ってください。手を保護してくれるものだからと言って何でも触っていいわけではありません。

岩と思って触ったら実はサンゴなんてこともあり生物を傷つけていることもあるのです。

またそこが次の感動をもたらしてくれるサンゴができる場所かもしれません。

グローブをしないで潜る事によって水中生物への知識、注意が広がりダイバーにもサンゴにも安全で優しいダイビングができるはずです。

コロールのレギュレーションではグローブは禁止されています。ブルーコーナー等流れのあるポイントではグローブをポケットに入れて万が一に備えておくなどしておくとおもしろいダイビングができるはずですよ。

カレントフックを使おう！

流れのあるポイントで着底しないでその場に止まっているのは魚じゃないので不可能ですよ？

そんな時、岩にもつかまらず、最小限のリーフへのインパクトで止まっていられるのがパラオ生まれのカレントフックです。

必ず！リーフの岩盤や岩などにフックを引っ掛けてください。くれぐれもサンゴにはかけないように。

またフックした後にリーフに仁王立ちしたり座ったりしないように！

正しい使い方

フック後に、流れを利用して上体を浮かし、飛行機が揚力で持ち上がるように体正面から流れを受けるとします。

適切なウェイトであればこれで十分ですが、ちょっとフィンがついてしまうという方はBCDに空気を入れて

プラス浮力にする事によってリーフから離れて浮く事ができます。くれぐれも空気の入れすぎ、

フックが外れてしまったときの吹き上げなどに注意し、排気システムの確認をしておきましょう。

LESSON TWO PALAU, LTD.
MY PALAUSPORT
P. O. BOX 1455 KOROR PALAU 96940
TEL: +680-488-1120
FAX: +680-488-1125
WEB: <http://www.sportstours.co.jp>
MAIL: lessontwo@sportstours.co.jp

「知ろう、行こう、守ろう」国際サンゴ礁年2008

